

令和5年度第7回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和5年11月8日 13時00分～14時40分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長兼副学長事務取扱、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長兼高等教育推進センター長職務代理兼教学IRセンター長職務代理、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長）、宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）

[事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長、長谷川宮古事務局長、西川総務財務課長、八木主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議10月11日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

なし

協議事項

公立大学法人の年度計画・年度評価廃止等に係る地方独立行政法人法の改正に伴う本学の今後の対応について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。自己点検・評価の手続きについて、今後も簡略化できる手続きはできるだけ簡略化し、効率化を図っていきたいとの補足説明があった。また、学長から、自己点検・評価結果には一次提出と二次提出があるが、二次提出は一次提出から変更がある項目のみでよいとの補足説明があった。

学長から、「評価のための評価」ではなく、評価が大学の向上につながるよう進めてほしいこと、本学の様々な取組内容や成果を積極的に学外に広めていく必要があること、向上につながっている取組に対してのインセンティブなども今後検討する必要があるとの発言があった。

委員から、定期的・継続的な自己点検・評価は、組織の質の向上のために必要であること、これまでは毎年度、法の規定という外部からの管理により自己点検・評価をやらなければならないという状況であったが、法の規定が廃止されたことから、中期目標期間6年間で自主的に自己点検・評価を行うことができること、他法令によ

る義務付け事項については、自己点検・評価の結果を反映させることで対応できるとの発言があった。その上で、今後の自己点検・評価のあり方としては、学外向けにできるだけ大学を良く見せようとする点検・評価ではなく、努力したが計画どおりに進まなかったことや改善が必要なことを点検・評価することが、組織の向上のために大切であること、自己点検・評価は業務負担が大きくなりがちであるため、組織の向上のために真に必要な計画や、自己点検・評価の進め方を精査し、事務の効率化も図っていく必要があるとの発言があった。

これについて、他の委員から、組織の向上につなげる点検・評価を行うとともに、自己点検・評価結果を学外に公表するためには、現状を適切に点検・評価し課題を正しく認識するための内部改善用の点検・評価と、学外向けの点検・評価に区別して行った方がよいと考えるとの発言があった。また、課題を正しく認識するための点検・評価が機能しないのは、本学に限らず日本の傾向として、課題が見つかった場合に責任追及や誰かの批判の方向に動いてしまうことを避けようとするためであることから、責任の追及をしないことが必要であるとの発言があった。

学長から、日本は達成度評価が主であり、達成しなければ低い評価となってしまうため、達成できそうなことしか目標や計画に記載しないという状況になっているが、達成は困難だが取り組みたいことや努力したいことなどは、大学内部の計画として進めていけるようにしたいとの発言があった。また、達成しなかった場合であっても、努力した内容については学外に公表してもよいのではないかと考えること、公表の内容等は、委員からの意見を踏まえて検討するとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり了承された。

報告事項（口頭報告）

- (1) 令和5年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナー開催要項
猪股高等教育企画部長から、資料に基づき説明があった。
- (2) 令和5年度岩手県立大学の就職内定状況（10月末現在）について
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
- (3) IIBによる起業家支援活動への協力について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (4) 「地域協働研究成果報告会」の開催について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
学長から、今回はオンライン配信のみであるが、次年度以降、対面とオンラインのハイブリッド開催を検討してほしいとの発言があった。
- (5) 令和5年度安全保障輸出管理研修会の実施報告について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。教員自身の外国出張時だけでなく留学生への対応にも気を付けなければならないことから、改めて各部局において周知徹底してほしいこと、フローチャートなどを用いて確認し、適切に対応してほしいとの補足説明があった。
学長から、研修会は、大学で安全保障輸出管理を担当していた講師による、大学での実例を交えたわかりやすい内容であったことから、参加できなかった教員も動画を確認してほしいとの発言があった。

(6) Microsoft365の教職員向け試行利用（希望者向け）の開始について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、Microsoft365を使用すると従前のMicrosoftOfficeは使用できなくなるのかとの質問があり、橋本企画本部長から、インストール版のMicrosoft365を使用する場合は従前のMicrosoftOfficeを削除する必要があるが、Webブラウザ上のMicrosoft365を使用する場合は従前のMicrosoftOfficeを削除する必要はないとの回答があった。

(7) 令和6年度公立大学学長会議及び全国公立大学学生大会の本学での開催（主幹校の対応）について

佐藤企画室長から、資料に基づき説明があった。

学長から、全国公立大学学生大会のポスターセッションについては、全国の多くの学生や教職員が見ることができるよう、オンライン配信も検討するとの発言があった。

(8) 職員の育児休業等の取得の支援について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。また、次のとおり資料修正の説明があった。

資料 36 ページ

1 目的 1 行目

誤：一般事業行動計画

正：一般事業主行動計画

委員から、妊娠・出産は非常にプライベートでセンシティブな内容であることから、形式的な対応ではなく、対象者と所属長がしっかりと信頼関係を築いて対応していくことが重要であること、所属長が職場内の調整を行うことになっているが、他の職員の業務負担が増加する場合、職場の雰囲気が悪化してマタニティハラスメントが発生しやすくなることから、所属長の意識醸成をしっかりと行う必要があるとの発言があった。

また、他の委員から、対象者の意向を把握して働きやすい職場づくりに生かすことが主眼であると思うが、妊娠・出産に関してはフレキシブルな対応が必要であり、育児支援計画シートの必要性に疑問を感じることも、所属長の対応によってはハラスメントにつながる可能性も危惧されるが、どのような経緯で当該シートを定めるに至ったのかとの質問があった。

これに対し、新沼事務局次長兼総務室長から、当該シートは事務局職員を対象としていること、事務局はグループ単位で業務を行っていることから、対象者の意向を確認して他の職員の業務の調整を行う必要があり、所属長が適切に状況を把握して職場の理解の促進にも努めなければならないこと、また、出産や育児に関する休暇・休業等の取得の促進につなげる取組として、設立団体である岩手県の例に倣って当該シートを定めたものであること、教員に対して当該シートの活用を義務付けるものではなく、参考としての情報提供であるとの説明があった。

これに対し、委員から、取組の視点は良いが、実際に制度を利用する対象者の立場に立った内容になっているのか疑問であることから、試行しながら改善してほしいとの発言があった。

(9) 裁量労働制の適用に係る制度改正について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

(10) 令和6年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、外部資金の獲得のため、民間企業等と共同研究の積極的な実施が求められているが、民間資金の獲得に有効な手段として、民間研究者を学内で指導したり一緒に研究を進めていく場合に、民間研究者の学内での立場を明確にすることが有効であること、具体的には、特任などであっても教員としての立場を与えて学内で活動できるようにすることで、特に若い民間研究者が積極的に大学に関わるようになるとの発言があった。また、民間研究者が大学の研究施設を有償で利用できるようにすることもひとつの手段であり、特に大企業の場合に有効であるとの発言があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和6年度総合型選抜結果について

(2) 「2023年いわて高校生学び応援プロジェクト 小論文コンクール」審査結果について

(3) 令和5年度岩手県立大学大学祭（鷲風祭2023）の開催結果〔速報〕について

(4) 令和5年度岩手県立大学宮古短期大学部大学祭（蒼翔祭2023）の開催結果について

(5) 令和5年度第2回就職支援連絡調整会議の開催結果について

(6) 令和5年度地区講座の開催結果について

(7) 令和5年度第2回安否確認システム報告訓練の実施結果について

(8) 「令和5年度第5回職員衛生委員会」の結果について

(9) 「令和5年度第6回職員衛生委員会」の結果について

その他

なし